

令和6年第422回信濃町議会定例会 招集あいさつ

令和6年1月5日
信濃町長 鈴木 文雄
議会議事堂にて

新年あけましておめでとうございます。第422回信濃町議会定例会の招集にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は、本会議並びに各委員会、一般質問等を通じまして様々なご議論を頂き、誠にありがとうございました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。頂きましたご意見、ご提案につきましては、今後のまちづくりに活かしてまいり所存でございますので、本年も引き続きご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

はじめに、1月1日の午後4時10分頃に発生いたしました能登半島地震は、石川県志賀町で最大震度7を記録し、信濃町におきましても震度5弱という大きな揺れを観測いたしました。町では災害警戒本部を速やかに設置し、消防団をはじめとする関係機関との協力体制のもと、町内における道路や河川、上下水道などインフラに関する情報収集のほか、一人暮らしの方々の安否確認などを行ったところです。

地震発生から4日目を迎えますが、報道によりますと能登半島においては現在も余震が続いており、道路や鉄道も寸断された状況とのことでございます。また、姉妹都市であります能登町の大森町長からは、地震と津波により家屋の倒壊や火災が発生し、停電、断水は復旧の目途が立たないなど、極めて厳しい状況にあるとお話を伺いました。

現地の皆さんは、大きな不安と疲労を抱えながら日々をお過ごしのことと拝察いたしますが、同じく姉妹都市である千葉県流山市とも情報を共有し、食料や飲み物などの生活物資をお届けすると同時に、被災された皆さんが平穏な日常生活を一日も早く取り戻すことができますよう、所要の支援を継続してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。

さて、本会議に提案申し上げます議案でございますが、令和5年度一般会計につきまして、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用したプレミアム付商品券の

発行に要する経費として、3,500万円余の増額補正をお願いするものでございます。また、これによります経済効果は1億700万円程度と見込んでおり、町内事業者にとりましても大きなメリットがあると期待しておりますので、ご審議を賜り、ご決定くださいますようお願い申し上げます。

終わりに、本年が町民の皆様、そして信濃町にとりましてもすばらしい一年になることを願い、また議員各位のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、定例会にあたりましての挨拶といたします。